



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 56 号
令和 3年 2月 5日

引き継がれたバトン（生徒会新旧交代式）

校長 古市 直彦

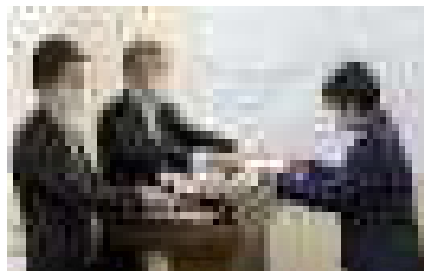
1月28日（木）生徒会新旧交代式を行いました。

まだ、体育館に全校生徒が集まっての集会ができない状態でしたので、放送室から、テレビ放送を通しての実施となりました。

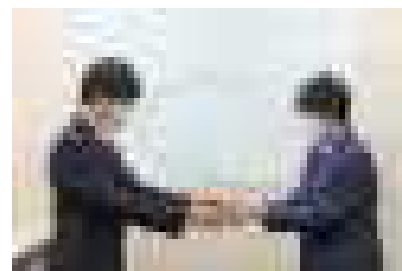
まず、旧役員（生徒会本部役員、議長・副議長、専門委員長）の皆さんに全校生徒と学校からの感謝状を贈呈しました。そのあと、新役員の皆さんに任命書を授与しました。新旧生徒会長による「若中バトン」の引き継ぎが行われたあと、旧生徒会長から全校生徒と新役員に、次のようなメッセージが贈られました。



感謝状の贈呈



任命書の授与



「若中バトン」の引き継ぎ

約2年間、生徒会へのご協力、ありがとうございました。皆さんの協力のおかげで生徒会活動を円滑に進めることができました。初めはいろいろと不安がありましたが、たくさんの人の協力のおかげで、任期満了まで務めることができました。

僕はよく、生徒会に所属できて良かったなぁと思うことがあります。それは、皆さんが委員会活動に尽力している姿を見たときです。僕は、集会などで、全員がリーダーの自覚をもって行動して欲しいと言いました。そのことを皆さんが誠実に受け止め、行動を移している姿を見ると、生徒会をやっている良かったなぁと思いました。

今年度は、コロナウイルスの影響で、たくさんの行事が削減され、生徒会としての活動は減ってしまいました。いろいろな企画がだめになってしまい、僕達は思うような活動はできませんでしたが、新生徒会本部の皆さんなら、僕達を上回る企画を考え、僕達にはできなかったような良い学校作りをしてくれると思います。そのために生徒の皆さんもご協力をお願いします。

新生徒会の皆さん。僕達旧役員が嫉妬するような活動を期待しています。

最後に僕から一つお願いがあります。それは、人を頼ることです。中にはすでにできている人もいると思いますが、一人で解決しようと頑張っている人は、周りの人に頼っててください。僕も一人でどうにかしようと思いましたが、周りに頼ることで良い改善策も出るし、気持ちも楽になるのでやってみてください。今までありがとうございました。

前生徒会長 _____（3-1）



このメッセージを受けて、新生徒会長から次のような話がありました。

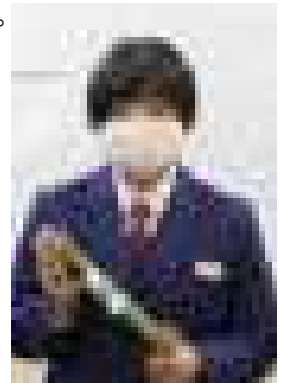
今日は、改めて旧生徒会長の村上先輩から引き継ぎのバトンを受け取りました。私は今までの生徒会活動の記録、学年が積み上げてきたものを、より良い形で引き継いでいきたいと思っています。今、

コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が再度出され、学校生活の中でもさまざまな制限が出ています。給食の時間、休み時間、部活動など、たくさんの我慢をしています。特に、部活動では大会がなくなってしまったり、練習が思うようにできなかつたりしている状況の人が多いと思います。私も同じです。また、3年生の皆さんは、受験も控えています、その中でストレスがたまる部分も多いと思います。

でも、皆さんが今している我慢は、きっとムダじゃないはずです。必ず、その我慢が私たちの我慢で過ぎた日々を取り返してくれるはずです。そんな我慢が常に隣にいても、学校生活をより良い思い出にできるような活動を私たち生徒会本部がやっていけたらと思います。そのひとつとして意見箱を設置しました。ぜひそこに、皆さんの考える、コロナウイルスに負けない取り組みを書いてほしいです。この学校の生徒全員が“生徒会”というものに所属していることを忘れないでください。“生徒会”全体で、楽しい学校生活を創っていきましょう。

最後になりましたが、旧生徒会本部役員の先輩方、今までいろいろなことを教えてくれてありがとうございました。私たち新生徒会本部がもっと学校を発展させていきます。そして、先輩方が嫉妬するような活動を目指して頑張ります。これからよろしくお願いします。

新生徒会長 _____ (2-5)



引き継がれた「若中バトン」

今回引き継がれたのは、単なる1本のバトンではなかったようです。「制限がある中で、自分達ができなかった分まで頑張りたい!」「先輩方の分まで頑張りたい、もっと若中を良くしていきたい!」さまざまな思いのこもった「若中バトン」となりました。

例年、この式は、本校の校訓でもある「愛校・自学・自立」に関して自然と生徒の意識が高まっていくことになる式なのですが、コロナ禍の本年度は、今まで以上にたくさんの思いがこもった、重たいバトンとなったようです。

この、たくさんの思いのこもった重たい「若中バトン」を受け取った1・2年生が、これから先どのような活躍を見せてくれるのか、楽しみになりました。

主な行事の様子です

校内書き初め展 金賞作品展

(1月28日~2月5日頃)

前週まで各教室前等に掲示していた校内書き初め展の作品の中から金賞受賞作品を集め、「金賞作品展」として2階職員室付近の廊下に展示コーナーを設けました。

通常は、自分の学年以外のフロアーに行く機会がないので、他学年の作品を鑑賞することができません。

そこで、本年度からこのようなコーナーを設けることにしました。

千葉市総合展の校内作品展を行ったときと同様に、移動教室の際などに多くの生徒が足を止めて作品を観てくれました。

